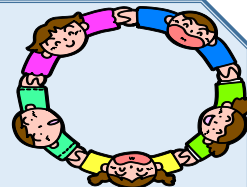


みんなそろって 輪になって



◇本年度の重点目標

自己肯定感を高め、自他の成長を喜べる子どもの育成

笑顔いっぱい!!できた!わかった!がんばった!自信がついた!

第4号 令和3年7月21日

1学期を振り返って

校長 大橋 昌樹

忠栄小学校から新しい仲間を14名、志比内小学校から転入生を1名、そして、28名の元気な新1年生を迎えてスタートした1学期も今日で終わりとなりました。

今年こそは、6月に全校の運動会ができると期待していましたが、北海道にも緊急事態宣言が発出され延期となりました。また、修学旅行も2学期へ延期となりました。日常の生活や学習活動も感染対策のためになお、制限がかかっています。

しかし、去年に比べて子どもたちの様子を見てみると、できないことを残念に思うというよりは、できることを工夫して楽しむことができるようになってきていると感じています。今年は、低学年の廊下には、クワガタやカマキリ、亀等々の生き物が飼われていて、子どもたちは、毎日、お世話をしながら、楽しそうに生き物に触れています。中学年では、体育の時間に、外部講師を招いて、ジャグリングを楽しみました。高学年では、子どもたちでデザインを考えて、クラスTシャツを作る取組が進められています。その他にも、今年、新たな取組が様々な場面で展開されています。

P T Aでも、ひまわり迷路作りのために、草刈りや追加の種まきや追肥をしながら、生育の管理をしています。コミュニティ・スクールでも、新体力テストの補助や、子どもたちと一緒に花壇の移植をするなど、新しい活動が生まれました。

1学期の児童アンケートでは「あいさつ・言葉遣い」「将来の目標や夢」、保護者アンケートでは「メディアの視聴時間」「地域と連携した教育」で向上が見られました。

これらの1学期の成果は、学校・家庭・地域の連携によるものと深く感謝いたします。

さて、明日から子どもたちが楽しみにしていた夏休みに入ります。規則正しい生活を送りながら、計画を実行できるようにしていただきたいと思います。併せて、気持ちをリフレッシュすることも大事なことです。2学期のために、充実した夏休みにとともに、しっかり力を蓄える夏休みになるように、ご家庭でもご配慮いただきますようお願いいたします。また、感染対策にもご配慮いただければ幸いです。

8月17日（火）の2学期始業式に、全員が元気に登校してくることを待っています。地域の皆様には、休み中の子どもたちを温かく見守っていただけますようお願いいたします。

夏季休業期間中における「学校閉庁日」について

東神楽町では、今年度も「東神楽町立学校における働き方改革アクションプラン」に基づき、長期休業中に「学校閉庁日」を設定しています。「学校閉庁日」は、教職員が不在となりますので、地域や保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。万が一、緊急連絡の必要が生じた際には、下記まで、ご連絡ください。

〔学校閉庁日〕8月10日（火）～13日（金）

〔緊急連絡先〕東神楽町教育委員会教育推進課（電話 83-5406）

5年生宿泊研修(白金)

7月14日(水)と15日(木)の宿泊研修は、5年生にとって思い出深い行事になりました。1日目は、十勝岳砂防情報センターで、十勝岳の噴火や防災について学び、大雪青少年交流の家で、タグラクビー、スポーツレク、手作りストラップ、アジャタを体験しました。2日目は、ウォークラリーを体験しました。

今回の宿泊研修では、友達と寝食を共にしたり、今まで経験がないことにチャレンジしたりして、集団行動、整理整頓、礼儀やマナー、人との関わり、自分で考えて行動することなどについて学びを深めることができました。全員、2日間体調を崩すことなく、過ごすことができたので、良かったです。宿泊学習を通して、良かった点や改善点について振り返り、普段の学校生活や家庭生活に生かしていきます。



遠足

6月28日(月)に、遠足を実施しました。1年生は14号パーク場に行く予定でしたが、熊出没の影響で場所を変更し、新町公園と義経公園、2年生はひじり野西公園(途中までバス使用)、3年生は空港、4年生はひじりの公園、それぞれの目的地で楽しく一緒に遊んだり、お弁当を食べたりしました。とても気温が高かったので、体力を消耗したようですが、水分補給や休憩など、熱中症対策を取りながら、思い出に残る一日を過ごすことができました。遠足を通して、集団のきまりを守ることや、つらくても仲間と励まし合いながら、行動する大切さも学ぶことができました。



グリーンツーリズム(北川能園)

7月8日(木)、北川能園で4年生が農業体験をさせていただきました。命についてのお話(「作物は、子孫を残すために生きている」「生きている物は、死んだ物の栄養を、吸って生きている」「感謝の気持ちを込めて、いただきますを言ってほしい」)を伺ったり、機械を見せてもらったり、収穫体験(収穫→袋詰め→ピーマンの丸かじり)を、させてもらったりしました。また、おみやげとして、自分で収穫したピーマンをいただきました。日本農業新聞にも掲載していただき、広く活動を発信することができました。



多様な動きをつくる運動

7月6日(火)外部講師の米田健二さんに、4年生体育「多様な動きをつくる運動」でお手玉、リング、皿回し、ダブルタッチの指導をしていただきました。



本の読み聞かせ

7月17日は、道民の日でした。北海道は先住民族であるアイヌの人々が生活していた土地です。7月の読み聞かせでは、アイヌ神話等の絵本「アイヌとキツネ」「しっぽ沼」「バヨカカムイ」「ほら見てごらん」「くまのしっぽがみじかくなったわけ」「ようかいヤオシケブ」を読んでもらいました。どの学年の子どもたちも、自分たちの住んでいる北海道に興味や関心をもちながら聞いていました。

